

Ⅲ事業の実績報告

(令和 6 年度)

1 地域リハビリテーション推進強化事業

(1) リハビリテーション相談支援事業

① リハビリテーション相談（訪問）

支 援 内 容	回数	派遣スタッフ
・言語発達に関する評価及び助言 ・摂食嚥下及び食事環境の調整等に関する助言	7	言語聴覚士

② ALS患者等難病患者に対するコミュニケーション相談（訪問）

支 援 内 容	回数	派遣スタッフ
・コミュニケーション支援機器の説明 ・身体機能評価、機種選定の見立て及び使用環境の調整等	5	理学療法士、作業療法士

補装具判定関連の訪問：22件（判定：14件、仮合せ：8件、適合確認：0件）

③ 運転相談

種 別		件数	人数	内 容
計		11	11	
内 訳	来所相談	1	1	支援者
	電話相談	10	10	運転再開の流れ、自動車改造に係る業者や自動車教習所の情報等

④ 展示見学

種 別	件数	人数	見 学 者 内 訳
計	6	125	当事者、支援者、研修受講者、実習学生等

⑤ 関連物品貸出状況〈貸出物品数 延べ122件〉

種別	コミュニケーション支援関係										その他	
	重度障害者 用意思伝達 装置	固定台	入力装置 固定台	呼び鈴	呼び鈴 分岐装置	入力 スイッチ	遠隔制 御装置	Com その他	音声補 助装置	車いす 等	その他の 福祉用具	
計	20	17	4	8	4	35	1	32	13	2	71	

〈貸出先〉

機関	保健福祉事務所					仙台市	医療機関	訪問看護ステーション	障害者関連施設	その他
	仙南	仙台	北部	東部	気仙沼					
件数	11	15	13	6	2	0	3	2	0	8
物品数	35	42	44	24	8	0	16	17	0	21

(2) 障害児者支援機能強化事業

① 県内関係機関・団体とのネットワーク推進

開催日	関係機関	内容	会議・研修会等名称	対 象
R6. 6. 27	県障害者福祉センター	講師対応	身体障害のある方の高齢化、重度化への対応～主治医との連携やセルフチェックですこやかな毎日を～	当事者及び家族
R6. 7. 19	県総合教育センター	講師対応	令和6年度重度・重複障害教育研修会	公立学校教員
R6. 11. 22	リハビリテーション三士会	主催会議	リハビリテーション関連団体との情報交換会	リハ三士会役員
R6. 12. 18	東北保健医療専門学校	見学実習対応	作業療法学科3年見学実習	学生
R7. 1. 15	東北保健医療専門学校	見学実習対応	理学療法学科1年見学実習	学生
R7. 2. 25 R7. 3. 20	仙台エコー医療療育センター	講師対応	重症心身障害児（者）に対する意思伝達支援研修会	当事者家族、支援者

② 地域リハビリテーション情報収集

月日	項目	収集した情報
R6. 7. 27 ～ 7. 28	全国地域リハビリテーション合同研修大会 in 長崎 2024	全国地域リハビリテーション支援事業連絡協議会 令和6年第1回理事会への出席 全国の地域リハビリテーション支援体制と活動、課題、調査報告等について
R6. 8. 30 ～ 8. 31	第30回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会（オンデマンド配信）	地域での食支援について、発声訓練について、神経難病・義肢の基礎知識について等
R6. 10. 2	国際福祉機器展（HCR）	最新の福祉機器の見学と体験
R6. 10. 3 ～10. 4	リハビリテーション・ケア合同研究大会 in 山梨 2024	全国地域リハビリテーション支援事業連絡協議会 令和6年第2回理事会への出席 超高齢社会に対応した地域包括ケア、災害リハの取組、ICT技術を活用したリハアプローチ等

月日	項目	収集した情報
R6. 10. 25 ～ 10. 26	第 12 回日本難病医療ネットワーク学会学術集会 弘前	神経難病の ACP、摂食嚥下障害の対応、ALS の早期診断と治療、災害時の難病対策等
R6. 11. 17	東北摂食嚥下リハビリテーション研究会第 19 回研修会	困難症例の共有、気管切開と気管カニューレの知識、嚥下リハビリテーションの実際等
R6. 12. 20 ～ 12. 21	第 46 回総合リハビリテーション研究大会	障害者就労の現状と課題について、医療と就労支援機関の役割と連携、福祉的就労について等
R7. 1. 11	権利擁護ミーティング	意思決定支援におけるパターンリズムについて、事例報告を交えた意見交換等
R7. 2. 1 ～ 2. 2	第 1 回日本生活期リハビリテーション医学会学術集会	生活期リハにおける多職種連携、自立訓練事業、装具療法、ボツリヌス療法について等
R7. 3. 1	宮城県大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会（JRAT MIYAGI）令和 6 年度研修会	能登半島地震における石川 JRAT の活動について

(3) 障害児者支援人材育成事業

① 介助技術研修

開催日・会場	内 容	対 象	参加者数
R6. 9. 25 当所 会場集合型	テーマ 「多職種による利用者評価に基づく車椅子 適合支援」 講師 東北福祉大学総合マネジメント学部 教授 関川伸哉氏	障害者及び高齢者 支援に携わるリハ ビリテーション専 門職、生活支援及 び介護に携わるチ ームリーダー的職 員等	35

② 自立支援に向けた身体機能、活動アセスメント研修

開催日・会場	内 容	対 象	参加者数
R6. 10. 9 個別オンライン型	テーマ 「意思決定支援～意思決定能力と支援力の 向上」 講師 (一社) 宮城県社会福祉士会 副会長 小湊純一氏	相談支援事業所、 生活介護事業所、 障害者支援施設、 病院、訪問看護事 業所、市町村、保 健福祉事務所職員 等	148

(4) 障害児者支援普及啓発事業

① 事業周知

年月日	内 容	対 象	周知件数
R6. 6. 20	障害福祉課主催「障害福祉サービス事業者集団指導」における当該事業周知（資料提供）	市町障害福祉サービス事業者	740
R7. 3. 18			
R6. 4. 19	身体障害者支援班主催「市町村身体障害者福祉担当新任職員研修会」における当該事業説明	市町村身体障害者福祉担当職員	51

② コミュニケーション支援機器研修

開催日・会場	内 容	対 象	参加者数
R6. 8. 30 県北部保健福祉事務所 会場集合型	テーマ 「コミュニケーション支援に関する基礎的な理解と機器操作の体験」 講師 東北福祉大学総合マネジメント学部 高橋俊史氏 他	市町村、相談支援及び居宅介護支援事業所、訪問看護事業所、神経難病患者等の療養施設職員で、コミュニケーション支援経験の少ない方	44

③ 障害の理解啓発セミナー

開催日・会場	内 容	対 象	参加者数
R7. 1. 29 個別オンライン型	テーマ 「障害特性の理解と二次障害に必要な支援～最初に発見できるのは皆さんです～」 講師 宮城県リハビリテーション支援センター 医師 宮内名帆氏	相談支援事業所、生活介護、居宅介護、就労支援事業所、障害者支援施設、訪問看護事業所、市町村、保健福祉事務所職員	100

④ 福祉用具セミナー

開催日・会場	内 容	対 象	参加者数
R6. 11. 15 当所 会場集合型	テーマ 「身体障害者の自動車運転に関する研修会」 講師 国立障害者リハビリテーションセンター 自動車訓練室 遠藤明宏氏 他	県内の医療機関、 指定自動車教習 所、障害福祉サー ビス事業所、訪問 看護事業所、地域 包括支援センタ ー、市町村、保健 福祉事務所職員等	22

⑤ 身体障害者の社会参加に関する研修

開催日・会場	内 容	対 象	参加者数
R6. 11. 29 個別オンライン 型	テーマ 「障害者の就労支援に関する普及啓発」 講師 宮城・仙台障害者相談支援従事者協会 代表理事 福地慎治氏 宮城障害者職業センター 主任障害者職業カウンセラー 船津正悟 氏	医療機関、訪問看 護事業所、相談支 援事業所、障害者 就業・生活支援セ ンター、市町村、 保健福祉事務所等 の職員	59

⑥ プログラム・ツール等の作成、更新

タイトル	内 容
障害のある方のくるまの運転総合ガイドブック 3	内容を一部修正し、ホームページに掲載
要介護高齢者や障害者の摂食嚥下障害への基本的な対応 フローチャート	日本摂食嚥下リハビリテーション学会 学術大会で誌面発表 一部更新、一部修正し、ホームページに 掲載
食物による窒息事故防止のためのチェックシート	

(5) 調査・研究事業

内 容
リハビリテーション専門職養成校卒業生の就職状況等調査
病院・診療所、介護サービス事業所におけるリハビリテーション専門職従事状況の作成
リハビリテーション関係診療報酬基準取得状況の作成
病院における摂食嚥下障害対応状況調査

(6) 実務者会議等

会議、研修名	回 数	参 集 者
実務者会議	2	障害福祉課、各保健福祉事務所
担当者情報交換会	1	各保健福祉事務所
担当職員研修	1	各保健福祉事務所

2 身体障害者更生相談事業

政令指定都市である仙台市を除く県内の身体障害者に対し、身体障害者手帳の交付を行うとともに、身体障害者の福祉の推進を図るため、補装具の支給に当たっての判定・相談や障害の程度を軽減する医療（自立支援医療）の要否判定等を行い、身体障害者の日常生活能力の回復・向上を目指し、社会参加活動の促進を支援しました。また、身体障害者福祉に携わる関係者に対して研修会等を開催するなど技術的な支援を行いました。

(1) 身体障害者手帳の交付等

① 身体障害者手帳交付処理件数調

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規	258	241	259	299	229	283	232	256	200	209	216	233	2,915
再交付	145	131	117	175	122	126	105	116	118	109	107	101	1,472
計	403	372	376	474	351	409	337	372	318	318	323	334	4,387

② 身体障害者障害別・程度別一覧

(単位：人)

障害別 等級	視覚障害	聴覚障害	平衡機能	音声・言語 ・そしゃく 機能	肢体不自由	内部障害	計
1級	864	39	0	25	3,435	9,384	13,747
2級	842	921	1	22	4,166	193	6,145
3級	161	400	11	269	3,373	2,514	6,728
4級	196	890	3	195	5,183	4,390	10,857
5級	380	5	13		3,480		3,878
6級	152	1,105	0		1,292		2,549
計	2,595	3,360	28	511	20,929	16,481	43,904
構成比	5.9%	7.6%	0.1%	1.2%	47.7%	37.5%	100.0%

(注) 重複障害者の場合は、より重い障害の方に、障害程度が同じ場合には表の中で左側にある方に計上している。

③ 身体障害者手帳交付状況・所持件数の推移

(単位：所持者数)

障害別 年度	視覚障害	聴覚・平衡 機能	音声・言語・ そしゃく機能	肢体不自由	内部障害	計
R2	2,830	3,608	552	23,288	16,505	46,783
R3	2,717	3,497	529	22,621	16,383	45,747
R4	2,640	3,457	529	22,073	16,366	45,065
R5	2,622	3,382	516	21,407	16,410	44,337
R6	2,595	3,388	511	20,929	16,481	43,904

(参考) 仙台市

R6	2,247	2,463	378	14,660	11,631	31,379
----	-------	-------	-----	--------	--------	--------

(注) 重複障害者の場合は、より重い障害の方に、障害程度が同じ場合には表の中で左側にある方に計上している。

④ 障害等級別身体障害者手帳所持者

(単位：所持者数)

障害名	級	県	仙台市	合計	障害名	級	県	仙台市	合計
視覚障害	1	864	756	1,620	機能障害 心臓	1	6,016	4,310	10,326
	2	842	822	1,664		2	59	42	101
	3	161	106	267		3	1,283	905	2,188
	4	196	163	359		4	1,676	1,016	2,692
	5	380	335	715		小計	9,034	6,273	15,307
	6	152	65	217	機能障害 じん臓	1	3,122	2,209	5,331
	小計	2,595	2,247	4,842		2	28	23	51
聴覚障害	1	39	47	86		3	593	360	953
	2	921	683	1,604		4	22	7	29
	3	400	204	604		小計	3,765	2,599	6,364
	4	890	686	1,576	機能障害 呼吸器	1	147	106	253
	5	5	4	9		2	20	16	36
	6	1,105	814	1,919		3	486	431	917
	小計	3,360	2,438	5,798		4	137	70	207
平衡機能障害	1	0	0	0		小計	790	623	1,413
	2	1	1	2	腸機能障害 ぼうこう・直	1	16	8	24
	3	11	8	19		2	18	7	25
	4	3	0	3		3	122	82	204
	5	13	16	29		4	2,519	1,751	4,270
	小計	28	25	53		小計	2,675	1,848	4,523
機能障害 音声言語 そしゃく	1	25	26	51	機能障害 小腸	1	12	18	30
	2	22	26	48		2	5	3	8
	3	269	177	446		3	9	5	14
	4	195	149	344		4	15	9	24
	小計	511	378	889		小計	41	35	76
肢体不自由	1	3,435	2,883	6,318	機能障害 免疫	1	8	14	22
	2	4,166	2,880	7,046		2	40	76	116
	3	3,373	2,362	5,735		3	12	40	52
	4	5,183	3,452	8,635		4	17	36	53
	5	3,480	2,281	5,761		小計	77	166	243
	6	1,292	802	2,094	機能障害 肝臓	1	63	63	126
	小計	20,929	14,660	35,589		2	23	8	31
※重複障害は重い方に計上						3	9	4	13
						4	4	12	16
						小計	99	87	186
					内部障害 小計	1	9,384	6,728	16,112
						2	193	175	368
3	2,514	1,827	4,341						
4	4,390	2,901	7,291						
小計	16,481	11,631	28,112						
					合計		43,904	31,379	75,283

(2) 補装具の処方及び適合判定

① 判定・相談の依頼状況（市町村別）

（単位：件）

	来所相談				巡回相談	合 計			
	肢体 不自由	聴覚	視覚	計	肢体 不自由	肢体 不自由	聴覚	視覚	計
石巻市	15	72	0	87	60	75	72	0	147
塩竈市	27	21	0	48	1	28	21	0	49
気仙沼市	6	13	0	19	33	39	13	0	52
白石市	6	6	0	12	10	16	6	0	22
名取市	39	13	0	52	0	39	13	0	52
角田市	18	5	0	23	2	20	5	0	25
多賀城市	31	11	0	42	3	34	11	0	45
岩沼市	34	10	0	44	0	34	10	0	44
登米市	4	14	0	18	36	40	14	0	54
栗原市	5	28	0	33	45	50	28	0	67
東松島市	4	6	0	10	14	18	6	0	24
大崎市	11	23	0	34	66	77	23	0	100
富谷市	17	14	0	31	3	20	14	0	34
蔵王町	7	1	0	8	1	8	1	0	9
七ヶ宿町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大河原町	9	6	0	15	0	9	6	0	15
村田町	11	3	0	14	4	15	3	0	18
柴田町	33	14	0	47	8	41	14	0	55
川崎町	3	0	0	3	0	3	0	0	3
丸森町	5	4	0	9	2	7	4	0	11
亘理町	15	8	0	23	3	18	8	0	26
山元町	10	5	0	15	3	13	5	0	18
松島町	9	8	0	17	2	11	8	0	19
七ヶ浜町	7	4	0	11	0	7	4	0	11
利府町	4	12	0	16	8	12	12	0	24
大和町	6	5	0	11	6	12	5	0	17
大郷町	3	1	0	4	1	4	1	0	5
大衡村	3	3	0	6	3	6	3	0	9
色麻町	0	1	0	1	4	4	1	0	5
加美町	5	7	0	12	8	13	7	0	20
涌谷町	0	8	0	8	9	9	8	0	17
美里町	6	3	0	9	11	17	3	0	20
女川町	1	4	0	5	4	5	4	0	9
南三陸町	2	2	0	4	5	7	2	0	9
県外	1	0	0	1	1	2	0	0	2
合計	357	335	0	692	356	713	335	0	1,048

※判定依頼書・相談依頼書受理件数

② 判定・相談の実施状況（市町村別）

（単位：件）

	所内相談						巡回相談			合計			
	肢体不自由			聴覚	視覚	計	肢体不自由			肢体不自由	聴覚	視覚	計
	来所	文書	計				巡回	在宅	計				
石巻市	40	4	44	72	0	116	96	14	110	154	72	0	226
塩竈市	18	33	51	21	0	72	0	1	1	52	21	0	73
気仙沼市	18	0	18	13	0	31	71	3	74	92	13	0	105
白石市	11	0	11	6	0	17	10	6	16	27	6	0	33
名取市	90	0	90	13	0	103	0	3	3	93	13	0	106
角田市	26	3	29	5	0	34	0	3	3	32	5	0	37
多賀城市	42	16	58	11	0	69	3	1	4	62	11	0	73
岩沼市	69	2	71	10	0	81	0	2	2	73	10	0	83
登米市	11	3	14	14	0	28	59	7	66	80	14	0	94
栗原市	16	2	18	28	0	46	79	6	85	103	28	0	131
東松島市	11	0	11	6	0	17	21	6	27	38	6	0	44
大崎市	23	0	23	23	0	46	110	13	123	146	23	0	169
富谷市	37	1	38	14	0	52	0	5	5	43	14	0	57
蔵王町	13	2	15	1	0	16	2	0	2	17	1	0	18
七ヶ宿町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大河原町	12	8	20	6	0	26	0	0	0	20	6	0	26
村田町	20	8	28	3	0	31	1	3	4	32	3	0	35
柴田町	55	6	61	14	0	75	5	11	16	77	14	0	91
川崎町	7	0	7	0	0	7	0	0	0	7	0	0	7
丸森町	17	4	21	4	0	25	3	0	3	24	4	0	28
亘理町	34	0	34	8	0	42	2	2	4	38	8	0	46
山元町	31	0	31	5	0	36	1	3	4	35	5	0	40
松島町	13	6	19	8	0	27	0	3	3	22	8	0	30
七ヶ浜町	3	9	12	4	0	16	1	0	1	13	4	0	17
利府町	2	8	10	12	0	22	0	4	4	14	12	0	26
大和町	7	6	13	5	0	18	4	2	6	19	5	0	24
大郷町	3	2	5	1	0	6	1	0	1	6	1	0	7
大衡村	7	0	7	3	0	10	0	2	2	9	3	0	12
色麻町	1	0	1	1	0	2	7	0	7	8	1	0	9
加美町	11	1	12	7	0	19	13	2	15	27	7	0	34
涌谷町	1	0	1	8	0	9	19	0	19	20	8	0	28
美里町	16	0	16	3	0	19	19	3	22	38	3	0	41
女川町	2	0	2	4	0	6	8	0	8	10	4	0	14
南三陸町	11	0	11	2	0	13	4	4	8	19	2	0	21
県外	2	0	2	0	0	2	0	1	1	3	0	0	3
合計	680	124	804	335	0	1,139	539	110	649	1,453	335	0	1,788

※判定（適合判定・仮合せを含む）、相談の実施件数

③ 補装具判定結果の状況（種目別・年度別）

（単位：個）

年 度	義 手	義 足	下肢装具				靴型装具	体幹装具	上肢装具	義 眼	眼 鏡	補聴器	電動車椅子	車椅子			歩行器	姿勢保持装置	意思伝達装置	その他	計
			長下肢装具	短下肢装具	膝装具	その他								自走用	介助用	その他					
R2	11	58	9	298	21	34	29	1	8	0	0	338	36	80	26	3	0	18	8	8	986
R3	8	55	8	277	4	28	19	2	4	0	0	293	23	78	27	15	0	19	12	12	884
R4	22	73	8	314	12	22	27	3	5	0	0	299	34	95	34	5	3	23	13	3	995
R5	14	63	11	338	10	43	25	3	12	0	0	330	30	113	60	8	6	26	12	5	1,109
R6	6	44	7	355	6	75	22	4	3	0	0	335	23	89	60	0	4	33	12	7	1,085

④ 特例補装具判定状況

種 別	名 称	判定件数	判定結果	
			適	否
電動車椅子	Q5 OR カーボン	1	1	0
	F3 コルプス	1	1	0
歩行器	ユーウォーカー2	1	1	0
	テイコブリトルホーム WAWO5	1	1	0
	シトレアワイドR	1	1	0
	ジェミノ	1	1	0
	ハッピーミニトル抑速ブレーキ	1	1	0
計		7	7	0

⑤ 難病に伴う補装具判定状況

判定 件数	手帳 あり	手帳 なし	病 名	件数	補装具種目	件数
59	51	8	筋萎縮性側索硬化症	13	車椅子	22
			筋ジストロフィー	10	下肢装具	11
			脊髄小脳変性症	6	意思伝達装置	9
			多発性硬化症	6	電動車椅子	6
			関節リウマチ	3	靴型装具	4
			パーキンソン病	3	下腿義足	1
			シャルコーマリートゥース病	2	上肢装具	1
			レノックスガストー症候群	2	座位保持装置	1
			その他	14	その他装具	7

※一判定当たり複数の補装具となるケースがあるため、補装具の合計は判定件数と一致しない場合がある。

(3) 自立支援医療（更生医療）の要否判定及び医療機関の指定

① 判定の実施状況（市町村別・障害別）

（単位：件）

	腎臓	心臓	小腸	肝臓	免疫	肢体	口蓋	聴覚	その他	計		腎臓	心臓	小腸	肝臓	免疫	肢体	口蓋	聴覚	その他	計
石巻市	162	0	2	0	11	6	4	0	0	185	柴田町	8	0	0	1	3	10	0	0	0	22
塩竈市	34	6	0	0	5	3	0	1	0	49	川崎町	4	0	0	0	1	4	0	0	0	9
気仙沼市	29	0	0	1	1	3	0	0	0	34	丸森町	15	0	0	0	2	1	0	0	0	18
白石市	10	0	0	1	3	9	0	0	0	23	亘理町	19	0	0	2	1	8	4	0	0	34
名取市	45	0	0	1	4	24	0	0	0	74	山元町	1	0	2	0	1	7	0	0	0	11
角田市	17	0	0	0	1	9	0	0	0	27	松島町	19	1	0	0	1	0	0	0	0	21
多賀城市	19	2	1	2	3	3	2	0	0	32	七ヶ浜町	12	0	0	0	1	1	0	0	0	14
岩沼市	8	1	1	1	7	11	10	0	0	39	利府町	13	0	0	0	4	6	0	0	0	23
登米市	53	1	0	0	0	14	2	0	0	70	大和町	9	0	0	0	1	0	0	0	0	10
栗原市	51	0	0	2	1	14	0	0	0	68	大郷町	2	0	0	0	0	1	0	0	0	3
東松島市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	大衡村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大崎市	135	1	0	3	10	4	0	0	0	153	色麻町	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
富谷市	31	0	0	2	2	1	4	0	0	40	加美町	6	0	0	0	1	0	0	0	0	7
蔵王町	8	0	0	0	0	2	0	0	0	10	涌谷町	11	0	0	0	1	0	0	0	0	12
七ヶ宿町	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	美里町	13	0	0	1	1	0	0	0	0	15
大河原町	7	0	0	0	1	1	0	0	0	9	女川町	10	0	0	0	0	0	0	0	0	10
村田町	6	1	0	0	2	4	0	0	0	13	南三陸町	2	0	0	1	0	2	0	0	0	5
											計	762	14	6	18	69	148	26	1	0	1,044

② 医療機関指定等状況

（単位：件）

	病院・診療所	薬局	訪問 看護
R6. 4. 1 現在	54	357	8
新規	0	28	2
廃止	0	19	0
辞退	2	0	0
休止	0	3	0
満了	0	0	0
R7. 3. 31 現在	52	363	10
R6 年度中の変更	11	96	3
R6 年度中の更新	33	95	1

(4) 地域リハビリテーション推進事業

① 身体障害者地域リハビリテーション相談事業

地域における身体障害者のリハビリテーションの充実強化を目的に、保健、医療、福祉等の各関係機関との連携を図りながら、補装具判定等で相談会場に来所困難な重度身体障害者又は、在宅で相談・指導を行う方がより効果的と思われる対象者に対して、在宅訪問を関係機関の担当職員の協力のもとに実施しました。

② 補装具適性化事業

補装具判定業務に務に関しては、外部からの委員も参加して開催する補装具判定審査会（1回）及び所内の職員で構成する補装具判定検討委員会（定例4回、臨時3回）を開催しました。

補装具判定審査会では、特例補装具の判定状況と難病患者等に対する補装具の取扱い等などについて、補装具判定検討委員会では判定困難事例や内規の改正などについて協議を行いました。

イ 補装具適正化研修

研 修 名	実施日 会 場	対象者	参加 者数	内 容
補装具製作事業者研修会 （仙台市障害者 総合支援センターと共催）	R7. 1. 17 当所	補装具製作事業者等	22	「補装具費支給基準改正について」 「補装具の処方内容の共有について （意見交換）」

ロ 補装具判定審査会

年月日	内 容
R7. 2. 20	(1) 令和6年度の特例補装具・特例付属品の判定状況 (2) 事例紹介 ・ 特別養護老人ホーム入所者の義足作製に関する一考察 ・ ボツリヌス療法と装具の併用にて難渋した一例 ・ 立脚期電子制御膝継手の適応と考えられた大腿切断の一例（続報）

ハ 補装具判定検討委員会（定例）

年月日	内 容
R6. 5. 16	・補装具関連業務の今年度の体制について ・判定審査会外部委員について ・補装具判定内規・補装具費支給取扱要領の改正について ・電動車椅子（特例補装具）の支給可否について ・短下肢装具プラスチックヒンジ継手のネジ交換について
R6. 9. 19	・有料老人ホーム入所者に対する呼び鈴の処方について ・補装具事業者研修について
R6. 11. 21	・補装具判定審査会について ・姿勢保持装置と車椅子・電動車椅子の取扱いについて ・補装具事業者研修会について ・補装具判定記録について ・修理基準で発生する交換加算等の処方の記載について
R7. 1. 23	（書面開催） ・令和7年度補装具判定相談日程について

二 補装具判定検討委員会（臨時）

年月日	内 容
R6. 4. 25	・車椅子のクッション（カバー付き）の取扱いについて
R6. 10. 11	・有料老人ホーム入所者に対する呼び鈴の処方について（継続検討）
R7. 3. 26	・車椅子 REV06 の支給要件について

③ 障害者支援施設利用者相談事業

補装具を使用している障害者支援施設等の利用者に対し、補装具使用状況の確認や使用環境の評価、また、職員に対して補装具の装着や使用方法を指導する等の支援を行っています。

令和6年度は補装具判定（仮合わせ・適合判定を含む）を施設で行った49回のうち、10回について、使用状況、使用環境の確認を行い、適切な補装具の支給につなぎました。

④ 身体障害者福祉担当職員等研修会

研 修 名	開催日 会 場	対 象 者	参加 者数	内 容
身体障害者福祉 担当新任職員研 修会	R6. 4. 19 当所	市町村身体障害者福祉 担当職員	50	「身体障害者手帳について」 「自立支援医療（更生医療）について」 「補装具の基礎知識」 「補装具の判定について」
身体障害者福祉 担当現任職員研 修会	R7. 3. 18 当所（書 面開催）	市町村身体障害者福祉 担当職員	34	「身体障害者手帳について」 「自立支援医療（更生医療）について」 「補装具の判定について」

3 知的障害者更生相談事業

政令指定都市である仙台市を除く県内の 18 歳以上の知的障害者に対する判定やこれに付随する相談支援を行うとともに、児童（18 歳未満）及び 18 歳以上の方に対して療育手帳の交付を行いました。

加えて、18 歳以上の知的障害者及び保護者からの依頼により、判定結果を記載した証明書を発行しました。

また、市町村等の職員を対象とした研修会や支援困難ケースに対する後方支援を行いました。

(1) 療育手帳交付に係る事務処理状況

① 県内の療育手帳所持者数の推移（仙台市を除く）

県内の療育手帳所持者数の推移は下表のとおりです。令和 6 年度末現在の療育手帳所持者（仙台市を除く。）は、13,314 名です。

(単位：人)

年 度	計	A（重度）			B（中軽度）		
		児童	18 歳以上	計	児童	18 歳以上	計
R 2	12,310	601	3,997	4,598	2,081	5,631	7,712
R 3	12,600	625	4,036	4,661	2,131	5,808	7,939
R 4	12,602	649	3,928	4,577	2,137	5,888	8,025
R 5	12,913	670	3,949	4,619	2,273	6,021	8,294
R 6	13,314	715	3,941	4,656	2,424	6,234	8,658

② 療育手帳交付事務処理状況

令和 6 年度の療育手帳交付に係る申請事務の処理状況は下表のとおりです。ここでは、年度内に事務処理を完了させたものについて計上しています。令和 6 年度は 621 件の手帳交付を行いました。

「療育手帳交付」及び「交付申請却下」には、新規申請と転入による申請が含まれています。「記載事項変更」は、転居や婚姻等による住所や姓の変更及び保護者の高齢化や死亡による保護者の変更等です。「再交付」は紛失や破損等によるものです。「返還」は、他の自治体への転出や死亡、再判定の結果、非該当となったこと等によるものです。

(単位：件)

区分	療育手帳 交付	交付申請 却下	記載事項 変更	再交付	返 還
児 童	534	99	162	24	52
18 歳以上	87	2	558	205	168
計	621	101	720	229	220

(2) 相談判定の実施状況

療育手帳相談の内訳は、療育手帳交付申請のための相談が 89 件（7.0%）で、療育手帳交付後の障害程度確認のための再判定に係る相談が 1,181 件（93.0%）となっています。

以下は、相談判定の実施状況を示したものです。判定は所内もしくは巡回による面接により実施するものと、書面により実施するものとがあります。令和 6 年度は 126 件（67 回）の面接判定を実施しました。また、1,144 件の書類判定を実施しました。

① 判定実施状況

（単位：回，件）

		回 数	件 数
面接判定	来所相談	35	77
	巡回相談	32	49
書類判定		－	1,144
計		67	1,270

② 巡回相談実施状況

（単位：回，件）

広域圏	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 本吉	その他	計
相談会場 （保健福祉 事務所）	県仙南	県大崎	県栗原	県登米・ 登米市 南方庁舎	県石巻・ 東松島市 役所	県 気仙沼	自宅・ 施設等	
回 数	1	11	3	4	11	2	0	32
件 数	1	19	4	5	17	3	0	49

③ 知的障害者相談の地域別状況

(単位：件)

相談内容別 市町村 (広域圏)		療育手帳		合計		交付申請に係る 判定の結果		
		交付 申請	再判定			A	B	非該当
仙南	白石市	2	45	47	199	1	1	0
	角田市	3	29	32		0	3	0
	蔵王町	0	17	17		0	0	0
	七ヶ宿町	0	0	0		0	0	0
	大河原町	0	24	24		0	0	0
	村田町	1	11	12		1	0	0
	柴田町	2	32	34		0	2	0
	川崎町	1	15	16		0	1	0
	丸森町	3	14	17		0	3	0
仙台	塩竈市	8	57	65	421	0	8	0
	名取市	7	64	71		1	6	0
	多賀城市	4	60	64		0	4	0
	岩沼市	5	49	54		1	4	0
	富谷市	3	29	32		0	3	0
	亘理町	2	26	28		0	2	0
	山元町	0	12	12		0	0	0
	松島町	1	17	18		0	1	0
	七ヶ浜町	0	17	17		0	0	0
	利府町	1	20	21		0	1	0
	大和町	3	28	31		0	3	0
	大郷町	1	3	4		0	1	0
	大衡村	0	4	4		0	0	0
大崎	大崎市	6	140	146	224	0	6	0
	色麻町	0	5	5		0	0	0
	加美町	3	21	24		0	3	0
	涌谷町	0	15	15		0	0	0
	美里町	5	29	34		0	5	0
栗原	栗原市	5	75	80	80	1	3	1
登米	登米市	3	91	94	94	0	3	0
石巻	石巻市	14	133	147	187	1	12	1
	東松島市	2	34	36		1	1	0
	女川町	1	3	4		0	1	0
気仙沼 本吉	気仙沼市	3	39	42	65	1	2	0
	南三陸町	0	23	23		0	0	0
合 計		89	1,181	1,270		8	79	2

④ 判定結果

(単位：件)

区 分	交付申請	再判定	計
最重度	0	35	35
重 度	5	54	59
中 度	36	485	521
軽 度	46	607	653
非該当	2	0	2
計	89	1,181	1,270

⑤ 判定実施者の年齢区分

(単位：人、%)

区分	18～19 歳	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳以上	計	割合
男	157	244	144	137	61	35	778	61.3%
女	78	139	108	88	59	20	492	38.7%
計	235	383	252	225	120	55	1,270	
割合	18.5%	30.2%	19.8%	17.7%	9.5%	4.3%		

⑥ 判定実施者の合併障害状況

(単位：人)

年 度		R2	R3	R4	R5	R6
全 体		1,055	1,022	1,044	1,018	1,270
精神障害	て ん か ん	157	128	158	143	147
	統 合 失 調 症	65	63	54	39	44
	そ う う つ 病	7	12	20	27	36
	心 因 反 応	4	3	5	4	44
	そ の 他	243	252	248	238	300
	発達障害（再掲）	-	204	209	194	267
	計	476	458	485	451	571
身体障害	肢 体 不 自 由	86	62	66	70	68
	視 覚 障 害	14	11	11	13	4
	聴 覚 障 害	11	7	7	7	11
	音 声 ・ 言 語 障 害	1	3	0	3	2
	内 部 障 害	14	17	17	13	15
	計	126	100	101	106	100
合併障害なし		730	527	559	541	702

※ 複数の障害がある場合はそれぞれに計上。「その他」のうち、「発達障害」を再掲。

⑦ 療育手帳判定件数及び証明書等発行件数の年度別推移

18 歳以上の知的障害者又は保護者からの依頼により、判定結果を記載した証明書を発行しています。また、18 歳以上の知的障害者又は保護者の同意に基づき、他機関への判定に係る情報提供を実施しています。令和 6 年度は合わせて 217 件の依頼がありました。

(単位：件)

年 度	療育手帳判定	証明書等発行
R 2	1, 054	238
R 3	1, 022	239
R 4	1, 044	226
R 5	1, 018	169
R 6	1, 270	217

(3) 知的障害者福祉担当職員研修会の開催

研修名	開催日	会場	対象者	参加者数	内 容
知的障害者福祉担当 新任職員 研修会	R6. 5. 15	オンライン	知的障害者に関する福祉行政を担当する市町村職員及び児童相談所職員等の新任職員	64	(1)療育手帳制度の概要 (2)知的障害の定義と判定基準 (3)18 歳以上の方における相談判定事務について (4)18 歳未満の児童における療育手帳相談判定事務について (5)療育手帳交付事務について
知的障害者福祉担当 現任職員 研修会	R6. 11. 1	オンライン	知的障害者福祉行政担当の市町村職員、障害福祉サービス事業所職員、障害者就業・生活支援センター職員、県保健福祉事務所職員及び県児童相談所職員等	50	○講 話 「親なきあとのための知的障害者への支援について」 ○講 師 特定非営利活動法人 障がい者の暮らしとお金の相談室 理事長 齋藤 真一 氏 ソーシャルワーカー 福井 由美子 氏 ○内 容 親なきあとの問題の現状や、いわゆる「8050問題」による社会課題、そして支援の実際について、事例を交えて詳しくお話しいただいた。

(4) 地域生活支援の推進

市町村等から相談を受け、支援が困難なケースに対する支援方法についてともに検討を行っています。令和 6 年度は改めて会議形式は取らなかったものの、市町村から対応困難事例に対する電話等での相談があり、助言指導を行いました。また、療育手帳判定の対象者の中にも困難ケースがあり、判定後に市町村等の職員を交えた判定会議を開催し、支援方法について検討を行いました。

4 診療部門における リハビリテーション事業

(1) 障害者医療相談事業（障害者クリニック）

(2) 外来利用者のリハビリテーション医療

診療所では、リハビリテーション科・整形外科・脳神経外科を設置し、受診を希望する方からの予約や医療機関からの紹介を受け、各種相談やボツリヌス療法及び障害年金申請用診断書等の作成や理学療法・作業療法・言語療法を実施しています。施設基準は、障害児（者）リハビリテーション料、脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅲ）、運動器等リハビリテーション料（Ⅱ）を取り、疾患別リハビリテーションを行っています。

現在のリハビリテーション利用者は、専門医の判断でリハビリテーションの継続が有効であると判断された方です。具体的には、今後もリハビリテーションの介入により機能改善や能力の向上が期待される方、成人の脳性麻痺の方や、若年および壮年期の脳血管障害等で就労や職場復帰を目標としている方などです。

① 令和6年度外来診療状況（延人数）

（単位：件）

月 区分		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
初診及び再診		97	97	91	99	91	105	91	96	80	81	75	99	1,102
主な診療内容	理学療法	21	23	22	24	23	23	18	25	19	26	20	24	268
	作業療法	29	23	25	27	22	33	24	24	22	19	18	21	287
	言語療法	6	3	5	3	5	3	2	3	5	5	3	4	47
	ボツリヌス療法	12	6	7	10	11	3	6	11	6	6	8	8	94
	検査(知能・認知・神経)	2	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	6
	年金・手帳の診断	3	2	4	5	2	5	3	1	2	1	2	1	31
令和5年度 初診及び再診		89	101	93	92	93	95	110	102	101	90	94	119	1,179

②リハビリテーション実施患者の状況（実71人）

1) 疾患別

疾患名	件数	割合
脳血管疾患	5	7.0%
脳外傷等	6	8.5%
脊髄損傷、その他脊髄疾患（二分脊椎等）	0	0%
関節リウマチ、その他の骨関節疾患（外傷を含む）	0	0%
神経及び筋疾患	4	5.6%
脳性麻痺、その他小児疾患	52	73.2%
切断	0	0%
呼吸器・循環器疾患	0	0%
その他（悪性腫瘍、熱傷等）	2	2.8%
ポリオ	2	2.8%
計	71	

2) 年齢構成

年代	人数	割合
10代	0	0
20代	19	26.8%
30代	30	42.3%
40代	10	14.1%
50代	8	11.3%
60代	3	4.2%
70代	1	1.4%
80代	0	0%
合計	71	

3) 居住地

圏域	人数	割合
仙南	6	8.5%
仙台（仙台市除く）	26	36.6%
大崎	1	1.4%
栗原	2	2.8%
登米	1	1.4%
石巻	4	5.6%
気仙沼	1	1.4%
仙台市	30	42.3%
合計	71	

(3) 障害者検診事業

平成 25 年度からポリオ等による肢体不自由の方を対象に、身体機能やADLの低下を早期に発見し、二次障害の予防、機能の維持・改善、症状緩和を目的に、身体状況の評価等の検診を始めました。受検された方の満足度が高く、平成 26 年度から身体障害者手帳（肢体不自由）を所持している 18 歳以上の方等に対象を拡大しました。

また、センター会場のほか、遠方に住んでいるためセンターにおいて受検するのが困難な障害者が、移動負担の少ない近場での受検ができるように、巡回検診を 2 圏域各 1 回実施しています。

① 実施場所および受検人数

圏域	会場名	所在地	実施日	受検者数
仙台	リハビリテーション支援センター	名取市	6 月 26 日、7 月 24 日 9 月 18 日、11 月 27 日	18
気仙沼	気仙沼保健福祉事務所	気仙沼市	8 月 28 日	3
大崎	大崎合同庁舎	大崎市	10 月 23 日	4
合計			6	25

② 検診内容

項 目	内 容	備 考
問診等	問診票、F A I 自己評価表（I A D L の評価表）の記入	問診票、I A D L（手段的日常生活活動：家事、金銭管理、趣味等）に関する質問に対して、自身で記入する（書字が困難な場合は介助者でも可）
測定	身長・体重・血圧・握力	
計測	四肢周径・四肢長	左右の手足の長さ・太さを計測する
評価	F I M：日常生活動作の評価	セルフケア・排泄・移乗・移動に関して、本人（家族）に聞き取り、評価する
	MMT：筋力の評価	評価者の指示に沿って体を動かし、筋力を評価する
	R O M：関節可動域の評価	評価者が手足等を動かして、関節の動く範囲を計測する
	10m歩行速度：歩行能力の評価	歩行が可能な方については、歩く速さを計測する
医療相談	リハビリテーション科医師による医療相談を実施する。	医師が結果を伝え、個々の相談に応じる。必要な場合には医療機関への受診の提案、利用可能な制度の情報提供、補装具・動作の工夫に関する助言等を行う。
生活指導	医療相談で必要と判断された場合に専門職が実施する。	
保健指導		

③ 年齢構成

項 目	人数	割合
18～29 歳	2	8.0%
30～39 歳	1	4.0%
40～49 歳	2	8.0%
50～59 歳	4	16.0%
60～69 歳	3	12.0%
70～79 歳	11	44.0%
80 歳以上	2	8.0%
計	25	
平均年齢	61.9 歳	-

④ 男女構成

項 目	人数	割合
男 性	13	52.0%
女 性	12	48.0%
計	25	

⑤ 身体障害者手帳の所有状況

項 目	人数	割合
1 級	3	12.0%
2 級	6	24.0%
3 級	2	8.0%
4 級	6	24.0%
5 級	3	12.0%
6 級	3	12.0%
7 級	0	0.0%
無	2	8.0%
合計	25	

⑥ 主傷病

項 目	人数	割合
ポリオ	7	28.0%
骨・関節疾患	6	24.0%
脳血管疾患(頭部外傷含む)	5	20.0%
脳性麻痺	5	20.0%
神経・筋疾患	0	0.0%
脊髄疾患	1	4.0%
呼吸器・循環器疾患	1	4.0%
その他	0	0.0%
計	25	

⑦ 自覚症状

(複数回答)

項 目	計	割合
歩行障害	3	12.0%
筋力低下	6	24.0%
痛み	10	40.0%
身体の変形	1	4.0%
疲労感	0	0.0%
つっぱり	2	8.0%
しびれ	2	8.0%
筋肉が痩せた	0	0.0%
冷感	0	0.0%
息切れ	0	0.0%
飲み込みにくさ	0	0.0%
その他	9	36.0%

⑧ 医療相談における医師からの助言内容

(複数回答)

項 目	件数	割合
経過観察	23	92.0%
補装具助言	6	24.0%
他院受診の提案	3	12.0%
運動指導	6	24.8%
当院受診の提案	1	4.0%
その他	4	16.0%

5 高次脳機能障害者支援事業

高次脳機能障害者支援事業は当センター支援コーディネーター（作業療法士2名）を中心に相談事業や研修事業を行いました。

（１）相談事業

① 相談実績

相談形態	実人数	延人数	相談者（延）		居住地（延）		
			本 家 族	支援者等	県内	仙台市	他・不明
電話相談	40	40	10	30	9	8	23
来所相談	2	2	2	0	1	1	0
家族相談	0	0	0	0	0	0	0
メール相談	0	0	0	0	0	0	0
計	42	42	12	30	10	9	23

【相談内容内訳】

内 容	件数 (延)	内 容	件数 (延)
障害に関すること	4	就労・復職	0
診断・評価	3	日常生活	0
診断書作成	3	就学・復学	0
リハビリ	0	家族交流会	0
相談機関	5	連携パス	0
サービス・支援資源	4	その他	28
制度	0	計	47

※ 相談の内容は、単独ではなく高次脳機能障害に関することから日常生活や就労に関すること等多岐に渡るため、相談件数と相談内容の数は一致しません。

② 家族学習会

開催日	内 容	対象	参加者数
R6. 8. 2	第1回テーマ 「高次脳機能障害により日常生活で生じやすい困りごととその対応方法について」 講師：東北医科薬科大学病院 高次脳機能障害支援コーディネーター 目黒祐子 氏	当事者の 家族及び その支援 者等	6
R6. 10. 18	第2回テーマ 「高次脳機能障害のある方が利用できる福祉制度やサービス、社会資源について」 講師：東北医科薬科大学病院患者支援・医療連携センター 医療ソーシャルワーカー 大野美和子 氏		8
R6. 12. 13	第3回テーマ 「高次脳機能障害者が安心して生活をおくるための生活支援と工夫について」 講師：特定非営利活動法人みやぎ身体障害者サポートクラブ 相談支援ころんぶす 相談支援専門員 鈴木久美子 氏		9

③ 巡回相談

支援内容	主 催	開催日	内 容
家族交流会講師対応	北部保健福祉事務所	R6. 8. 20	高次脳機能障害を正しく理解し対応するために
家族交流会講師対応	東部保健福祉事務所	R6. 9. 30	高次脳機能障害の理解と支援
副管理者講習講師対応	宮城県指定自動車教習所協会	R6. 11. 21	高次脳機能障害の理解と対応
家族交流会における助言対応	仙台保健福祉事務所	R6. 11. 22	家族交流会における助言

(2) 研修事業

高次脳機能障害地域支援者研修会

開催日・会場	内 容	対象	参加者数
R7. 2. 21 総合教育センター	1 行政説明 「高次脳機能障害者支援に係る障害福祉サービス提供状況調査結果について」(報告) 2 特別講演 「高次脳機能障害とは」 講師 東北大学大学院医学系研究科 高次脳機能障害学分野 教授 鈴木匡子 氏 3 講義 1 「高次脳機能障害者支援における日常生活でのサポートの工夫～様々な症状への対応例を通して～」 講師 国立障害者リハビリテーションセンター 自立訓練部門 作業療法士 中村有志 氏 4 講義 2 「高次脳機能障害者支援に活用できる制度及びサービスについて」 講師 東北医科薬科大学病院患者支援・医療連携センター 医療ソーシャルワーカー 大野美和子 氏	医療・福祉に係る支援関係者	103

(3) 担当職員養成事業

関連する会議・研修等への参加（オンライン研修の受講）

開催日	内 容
R6. 6. 26	高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会
R6. 6. 26	高次脳機能障害支援コーディネーター全国会議
R6. 7. 10～ R6. 7. 12	高次脳機能障害支援養成研修（指導者研修）
R6. 9. 28	宮城高次脳機能障害リハビリテーション講習会
R6. 10. 4	日本高次脳機能障害友の会第 20 回全国大会 2014in 福島 高次脳機能障害支援コーディネーター研修会
R6. 10. 31	高次脳機能障害圏域研修会（主催：東部保健福祉事務所）
R6. 11. 7	高次脳機能障害支援者研修会（主催：気仙沼保健福祉事務所）
R6. 11. 14	職業リハビリテーション研究・実践発表会
R6. 12. 7	宮城県高次脳機能障害者支援普及事業専門研修会（主催：東北医科薬科大学病院）
R7. 2. 4	自立訓練（生活訓練）事業見学会（主催：仙台市太白障害者福祉センター）
R7. 2. 14	高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会
R7. 2. 27	高次脳機能障害支援者研修会（主催：仙台保健福祉事務所）

(4) 支援体制の整備

① ネットワーク会議の開催

開催日・会場	内 容
R7.2.7 リハビリテーション支援センター	参集：支援拠点病院、地域支援拠点病院、保健福祉事務所、仙台市、精神保健推進室等 23 人 内容： 【報告】 高次脳機能障害者への障害福祉サービス提供状況調査結果について 【情報交換】 各支援機関の取組状況及び現状・課題について

② 高次脳機能障害者支援に係る障害福祉サービス提供状況調査の実施

調査期間	調査対象 事業所数	調査回答 事業所数	調査内容
R6. 8. 2～ R6. 9. 2	602	418	1 調査対象：相談支援、就労支援、生活訓練、生活介護及び居宅介護の各事業所 2 調査内容 (1) 高次脳機能障害者への支援状況 (現在及び過去 3 年間) (2) 高次脳機能障害推測例への支援状況 (現在及び過去 3 年間) (3) 高次脳機能障害者支援に係る今後の受入可否

③ 事業周知

実施日	内 容	対象	周知件数
R6. 4. 19	身体障害者支援班主催「市町村身体障害者福祉担当新任職員研修会」における事業説明	市町村職員	51
随時	ホームページ掲載、更新		

④ 宮城県高次脳機能障害支援養成研修への運営協力

研修会当日の運営（会場誘導やグループワークでのファシリテーター等）の他、受講状況の確認や受講者名簿管理、講師との打合せ同行等、研修実施に係る協力を随時実施。

6 その他

(1) 学会発表・研修講師等

年月日	学会・研修会等名称	演 題	開催地	演者
R6. 6. 13	第 61 回日本リハビリテーション医学会学術集会	脳卒中経験者に対する短下肢装具の初回補装具判定の現状	東京都渋谷区	宮内名帆
R6. 6. 15	第 61 回日本リハビリテーション医学会学術集会	補装具判定困難事例 1：義肢	東京都渋谷区	西嶋一智
R6. 6. 29	宮城県障害者福祉センター「令和 6 年度当事者及びご家族に対する研修会」	身体障害のある方の高齢化、重度化への対応	仙台市宮城野区	西嶋一智
R6. 7. 29	令和 6 年度福祉機器専門職員研修会	身体障害者更生相談所概論	埼玉県所沢市	西嶋一智
R6. 8. 24	日本義肢装具学会特別研修セミナー	装具を正しく使い続けるために ～制度の理解と活用のポイント～	東京都文京区	西嶋一智
R6. 11. 2	第 8 回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会	切断者の維持期マネジメント	岡山県岡山市	西嶋一智
R7. 1. 17	令和 6 年度補装具製作事業者研修会	補装具費支給基準改正について	名取市	西嶋一智
R7. 1. 29	地域リハビリテーション推進強化事業「身体障害の理解啓発セミナー」	障害特性の理解と二次障害に必要な支援	名取市 (Web 開催)	宮内名帆

(2) 論文・原稿掲載等

著 者	論文名	掲載雑誌等
西嶋一智	西嶋一智:補装具判定困難事例1:義肢	The Japan Journal of Rehabilitation Medicine vol.61. Supplement 号, S306, 2024
	西嶋一智:生活期の「ミカタ」～福祉制度の活用～	The Japan Journal of Rehabilitation Medicine vol.61. 10 号, 977-82, 2024
	西嶋一智:切断者の維持期マネジメント	The Japan Journal of Rehabilitation Medicine vol.61. Autumn 号, S290, 2024
	西嶋一智:身体障害者診断書:総論	MonthlyBook Medical Rehabilitation, No.301: 15-20, 2024
	西嶋一智:補装具における医学的意見書の書き方	J. of Clinical Rehabilitation, 第33 巻, 10 号, 1011-17, 2024
	西嶋一智:福祉用具の種類と支給の現状	PO アカデミージャーナル, Vol.32, No.3: 98-103, 2024
	八木雅和、西嶋一智ら:デザイン思考に基づく支援機器開発ガイドライン	真のニーズに基づく支援機器の開発・事業化を実現するための出口・普及を想定した支援ネットワークモデル構築のための研究(22GC1008) 令和 5 年度総括・分担研究報告書. 5-16, 2024
	檜本修、西嶋一智ら:往復はがき形式の補装具フォローアップ事業の普及・実現性の検証	補装具費支給制度等におけるフォローアップ体制の有効性検証のための研究(22GC1010) 令和 5 年度総括・分担研究報告書. 38-44, 2024
宮内名帆	西嶋一智:「オンライン更生相談室」の検討	技術革新を視野に入れた補装具費支給制度のあり方のための研究(23GC2004) 令和5 年度総括・分担研究報告書. 15-18, 2024
	宮内名帆、西嶋一智:脳卒中経験者に対する短下肢装具の初回補装具判定の現状	The Japan Journal of Rehabilitation Medicine vol.61. Supplement 号, S482, 2024

(3) 研究活動等

氏 名	内 容
西嶋一智	東北大学医学部医学科・保健学科 学部非常勤講師
	東北文化学園大学 非常勤講師
	日本リハビリテーション医学会 代議員 障がい者福祉委員会 委員長 身体障害者診断書・意見書の書き方作成委員会 委員 診療ガイドライン委員会 下肢切断のリハビリテーション診療指針策定委員会 委員 東北地方会 幹事
	日本義肢装具学会 正会員 認定制度委員会 委員 義肢装具等支給制度対策委員会 委員
	全国身体障害者更生相談所長協議会 補装具判定専門委員会 副委員長
	全国地域リハビリテーション支援事業連絡協議会 理事
	日本災害リハビリテーション支援協会 研修企画委員会 委員
	宮城県リハビリテーション医会 世話人
西嶋一智	東北摂食嚥下リハビリテーション研究会 幹事
	厚生労働科学研究 「技術革新を視野に入れた補装具費支給制度のあり方のための研究」(23GC2004) 研究分担者

(4) 養成施設校実習指導等

年月日	学校名	内容	備考
R6. 6. 21 R6. 7. 16	東北福祉大学 健康科学部保健看護学科	リハビリテーション支援センターの概要と業務に関すること	4年生 4名
R6. 10. 28	東北大学 医学部保健学科看護学専攻	リハビリテーション学 「脳卒中と後遺症 -リハビリテーションにおける「医学」-」	2年生 70名
R6. 12. 3 R6. 12. 10	東北文化学園大学 医療福祉学部リハビリテーション 学科理学療法学専攻	義肢装具学 ①「切断術と断端管理」「補装具の支給体系」 ②「切断の医学的リハビリテーション」	2年生 80名